



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：クルド3県への治安権限移譲

(5月30日付現地報道)

1. 5月30日、エルビル市のコンベンション・ホールにて、エルビル県、スレイマニヤ県、ドホーク県のクルド地方3県の治安権限を米軍からクルド地方政府に移譲する式典が開催された。今後、クルド地方政府が、イラク中央政府と緊密に協力しながら3県の治安を維持していくことになった。
2. ネチルバン・バルザーニ・クルド地方政府首相は、「治安権限の移譲は、イラク再建の道における新たな成功である。又、クルド地方の歩んできたこの16年間の成果でもある。」と述べ、1991年の湾岸戦争以降、事実上の独立を維持してきたクルド地方の歩みに言及した。
3. 同式典に出席したイラク中央政府のルバーイ国家安全保障担当顧問は、「クルド地方政府は、他の地方にとって安定と民主主義の模範である。」と述べた。又、米軍のミクソン少将からも同趣旨の発言があった。
4. 今回のクルド地方3県の治安権限移譲は、ムサンナー県、ズィカール県、ナジャフ県及びミーサーン県に次ぐものであり、これで多国籍軍から治安権限を移譲された県は一挙に7県となった。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799